

2021年12月期 第2四半期決算 説明資料

ロイヤルホールディングス株式会社

(証券コード：8179)

<https://www.royal-holdings.co.jp>

2021年8月13日

ROYAL
ロイヤルホールディングス株式会社

I 2021年12月期 第2四半期 実績報告

II 構造改革の推進

- 変化への対応
- 経営効率化
- 成長分野の育成
- 双日株式会社との業務提携の進捗

III Appendix

I 2021年12月期 第2四半期 実績報告

II 構造改革の推進

- 変化への対応
- 経営効率化
- 成長分野の育成
- 双日株式会社との業務提携の進捗

III Appendix

I - 1. 連結損益

- ✓ 期初から続く、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響を受け、各事業で業績回復が停滞
- ✓ 対前年で減収となるも、構造改革の推進に伴う費用低減などにより、損失額については大幅に縮小

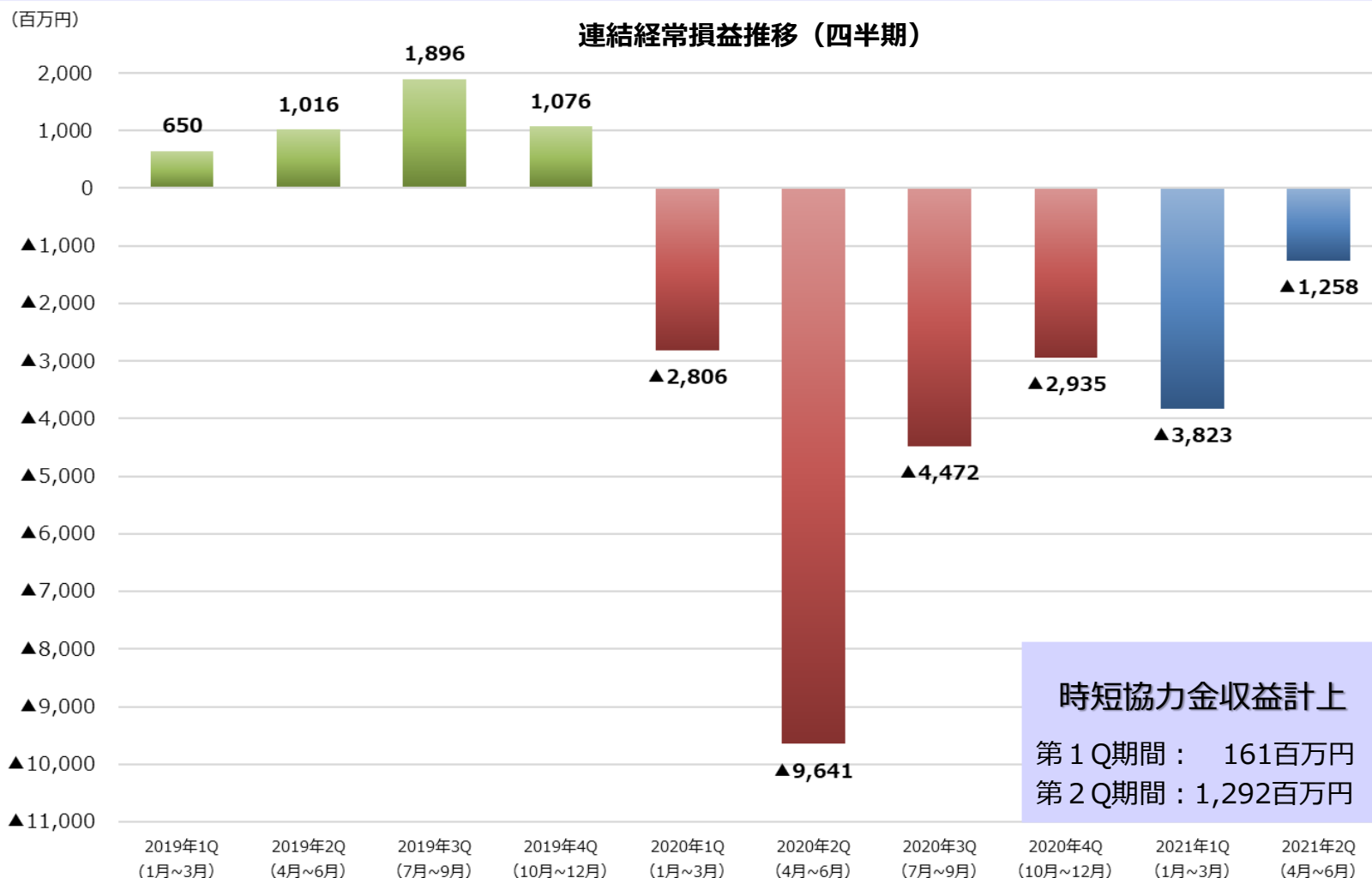
(単位：百万円)

	2020年12月期 第2四半期	2021年12月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	40,501	38,668	△1,832	△4.5%
営業利益	△11,659	▲5,275	6,383	-%
経常利益	△12,447	▲5,082	7,365	-%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△13,163	▲3,168	9,995	-%
E B I T D A	△8,963	▲1,906	7,057	-%

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + ネット支払利息

I - 2. 連結経常損益の推移

- ✓ 2021年第2四半期期間（4月～6月）の経常損失は、前年同期比（4月～6月）約△9割減
- ✓ コロナ禍の影響が顕在化した2020年第1四半期以降では、損失額は最小



I-3. キャッシュ・フロー

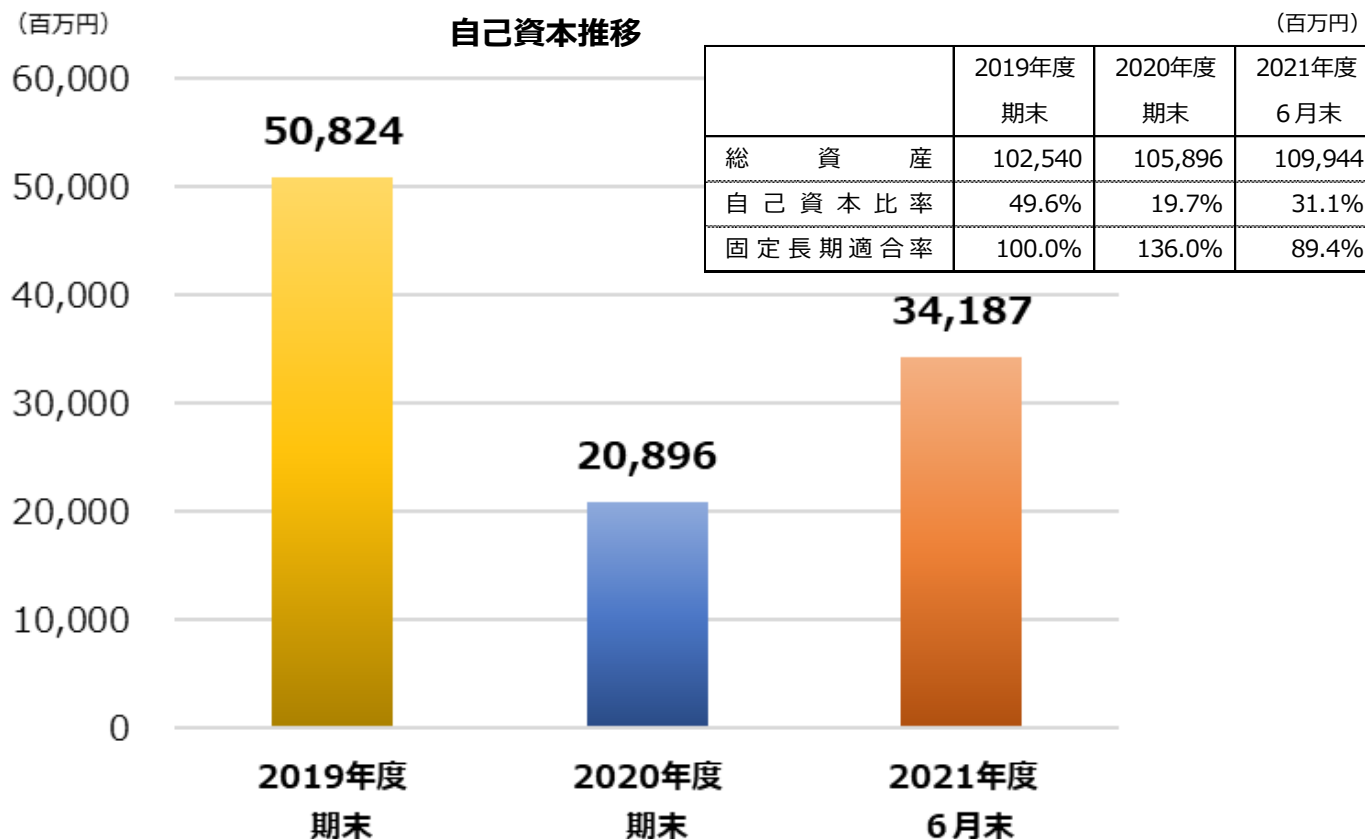
- ✓ 特殊要因（早期退職金14億円、納税猶予消費税の一括納付20億円など）が影響し、営業キャッシュ・フローは大きくマイナス
- ✓ 政策保有株式等の売却収入計上などにより、投資キャッシュ・フローはプラス
- ✓ 双日株式会社を割当先とする第三者割当による普通株式の発行、および、主要取引銀行への優先株式の発行により、財務キャッシュ・フローはプラス

（単位：百万円）

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減額
営業キャッシュ・フロー	△7,591	△5,073	2,517
投資キャッシュ・フロー （うち設備投資）	△9,638 △1,535	2,347 △1,273	11,986 261
財務キャッシュ・フロー	25,535	13,251	△12,284
キャッシュ・フロー合計	8,306	10,525	2,219

I-4. 財務基盤

- ✓ 自己資本は341億円、自己資本比率は31%の水準まで回復
- ✓ 固定長期適合率は90%を下回る水準まで低減



- ✓ 2021年3月末の短期借入金175億円は、長期借入金（5年）へ振替

- ✓ 2021年3月末期限のコミットメントライン100億円は1年延長

I-5. バランスシート

- ✓ 2021年6月末時点の現預金残高は243億円
- ✓ 自己資本比率は31%の水準まで回復、D/Eレシオ（ネット借入金ベース）は0.13倍まで低下し、財務基盤は改善

（単位：百万円）

	2020年度		2021年度	当中間期
	6月末	期末	6月末	増減
総資産	109,214	105,896	109,944	4,048
（参考）うち現金及び預金	12,745	13,884	24,394	10,510
有利子負債	58,370	62,295	59,878	△2,416
借入金	31,177	30,147	28,847	△1,300
リース債務	27,193	32,148	31,031	△1,116
自己資本	35,641	20,896	34,187	13,290
自己資本比率	32.6%	19.7%	31.1%	11.4%

（単位：百万円）

	2020年度		2021年度	当中間期
	6月末	期末	6月末	増減
ネット借入金	18,431	16,263	4,453	△11,810
対自己資本比（D/Eレシオ）	0.52倍	0.78倍	0.13倍	△0.65倍

I-6. セグメント別損益

- ✓ 外食事業では時短営業を実施する中で、コロナ禍前（2019年）の約8割まで売上が回復し、第2四半期累計期間で経常黒字に転換
- ✓ 他事業セグメントでは経常赤字となるも、対前年では損失幅は縮小

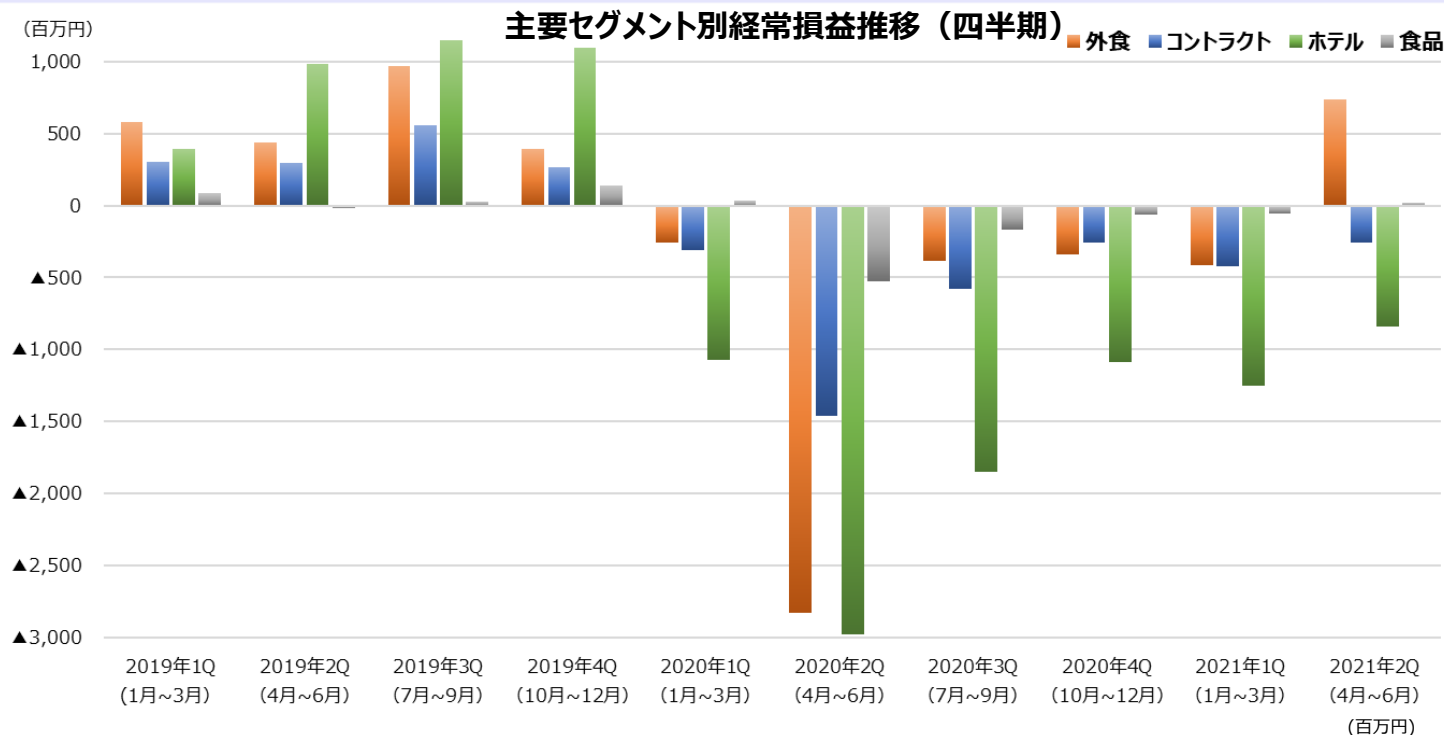
(単位：百万円)

	2020年12月期 第2四半期		2021年12月期 第2四半期		前期比較	
	売上高 (占有) (%)	経常利益	売上高 (占有) (%)	経常利益	売上高 増減額 (増減率) (%)	経常利益 増減額
外食事業	21,488 (53.1)	△3,084	21,240 (54.9)	326	△248 (△1.2)	3,411
コントラクト 事業	9,450 (23.3)	△1,768	7,640 (19.8)	▲678	△1,809 (△19.1)	1,090
ホテル事業	6,511 (16.1)	△4,053	7,402 (19.1)	▲2,094	890 (13.7)	1,959
食品事業	3,653 (9.0)	△495	4,312 (11.2)	▲30	658 (18.0)	465
その他事業	1,816 (4.5)	△1,147	397 (1.0)	▲545	△1,418 (△78.1)	601
セグメント間 相殺	△2,419 (-)	-	▲2,325 (-)	-	94 (-)	-
全社部門	- (-)	△1,897	- (-)	▲2,060	- (-)	△162
合計	40,501 (100.0)	△12,447	38,668 (100.0)	▲5,082	△1,832 (△4.5)	7,365

※ 機内食事業（2021年度第2四半期売上高264百万円、経常利益△566百万円）は、当期から「その他事業」に含めております。

I-7. 主要セグメント別の経常損益推移

- ✓ 主力の外食事業は、第2四半期期間を通じて時短営業を余儀なくされたものの、6四半期ぶりに経常黒字に転換
- ✓ 食品事業も、製造部門の増益により、経常利益を確保
- ✓ コントラクト・ホテル事業は、収益構造の改善もあり、損失額は縮小



	2019年1Q (1月~3月)	2019年2Q (4月~6月)	2019年3Q (7月~9月)	2019年4Q (10月~12月)	2020年1Q (1月~3月)	2020年2Q (4月~6月)	2020年3Q (7月~9月)	2020年4Q (10月~12月)	2021年1Q (1月~3月)	2021年2Q (4月~6月)
外食	582	438	968	391	▲254	▲2,830	▲386	▲343	▲414	740
コントラクト	307	299	555	264	▲308	▲1,460	▲576	▲258	▲420	▲258
ホテル	392	983	1,149	1,098	▲1,074	▲2,979	▲1,852	▲1,091	▲1,254	▲840
食品	88	▲15	29	140	32	▲527	▲166	▲66	▲53	23
連結	650	1,016	1,896	1,076	▲2,806	▲9,641	▲4,472	▲2,935	▲3,823	▲1,258

(百万円)

I-8. 主要事業ライン別損益

- ✓ ロイヤルホスト・てんやが経常黒字。一方で、宿泊需要の回復が遅れるリッチモンドホテルや持分法損失を含むその他外食・高速道路店舗などで赤字が継続
- ✓ 構造改革（組織再編・不採算店撤退等）の効果により、各事業で収支改善

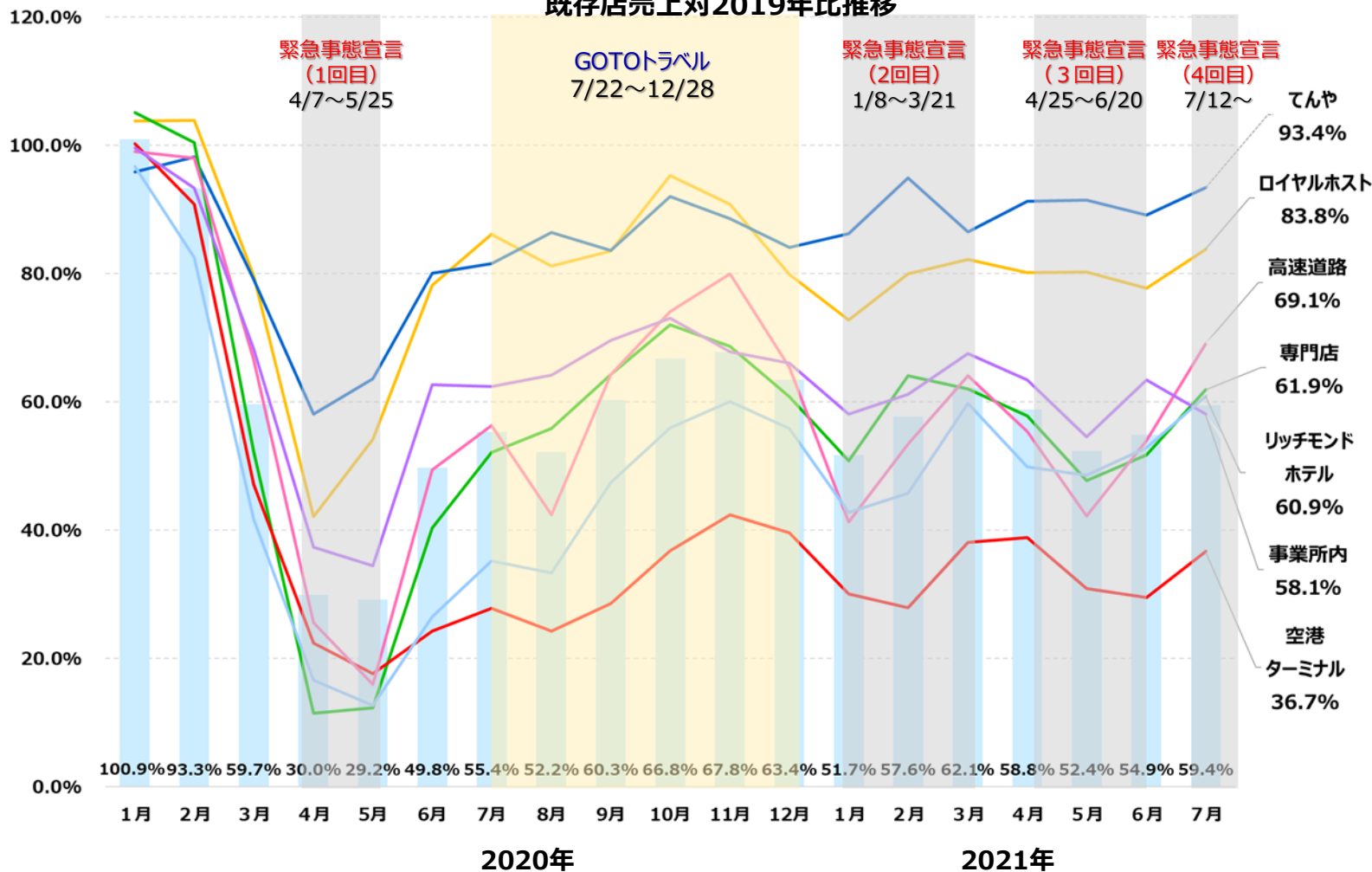
(百万円)

		2020年12月期 第2四半期		2021年12月期 第2四半期		前期比較	
		売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
外 食 事 業	ロイヤルホスト	13,289	△656	13,463	671	173	1,327
	てんや	4,879	△504	4,856	536	△22	1,041
	その他外食	3,319	△1,428	2,921	▲479	△398	949
	外食本部	0	△494	0	▲402	0	92
計		21,488	△3,084	21,240	326	△248	3,411
コ ン ト ラ ク ト 事 業	空港ターミナル	2,549	△542	1,318	▲87	△1,231	455
	高速道路	2,813	△493	2,543	▲364	△270	128
	事業所内等	4,086	△572	3,779	▲46	△307	526
	コントラクト本部	0	△160	0	▲180	0	△20
計		9,450	△1,768	7,640	▲678	△1,809	1,090
ホ テ ル 事 業	リッチモンドホテル	6,511	△3,982	7,402	▲2,008	890	1,973
	ホテル本部	0	△71	0	▲86	0	△14
計		6,511	△4,053	7,402	▲2,094	890	1,959
食 品 事 業	工場・購買物流ほか	3,653	△382	4,312	104	658	487
	食品本部	0	△113	0	▲135	0	△21
計		3,653	△495	4,312	▲30	658	465

I-9. 既存店売上 対2019年比の推移

- ✓ テイクアウト・デリバリー売上増もあり、ロイヤルホスト・てんやの2業態で回復が先行
- ✓ 2021年は緊急事態宣言が断続的に発令され、各事業で回復速度は鈍化

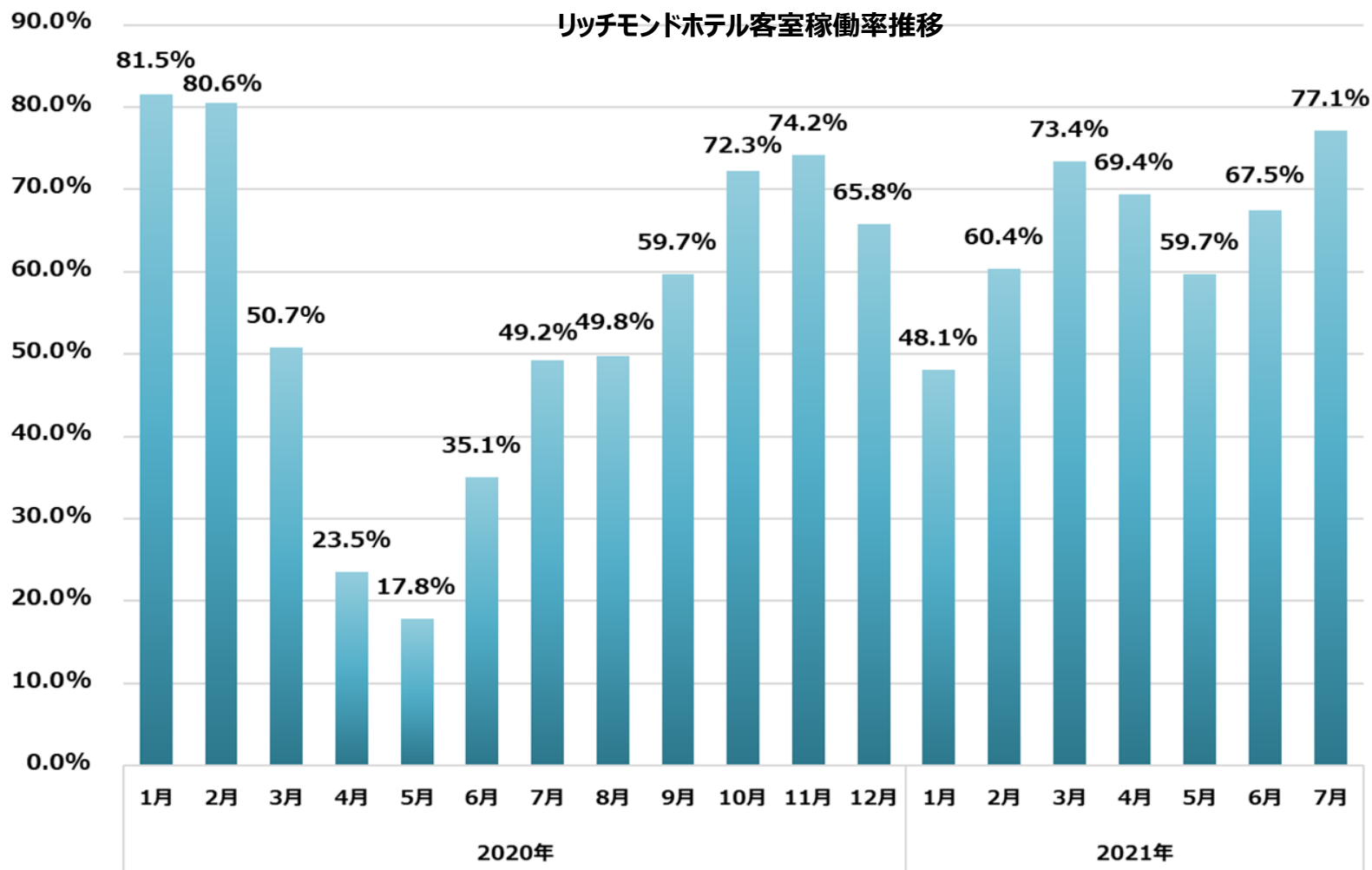
既存店売上対2019年比推移



■ 折れ線グラフ = 既存店ベースの売上高2019年比
 ■ 棒グラフ = 全店ベースの売上高2019年比

I-10. リッチモンドホテル 客室稼働率の推移

- ✓ 感染再拡大による需要回復の停滞はあるものの、オリンピック・パラリンピック関連の販売増もあり、足元（7月）の客室稼働率は77%程度まで上昇
- ✓ 一方で、客室単価は低水準に留まり、収益の回復は途上



I-11. 足元（7月）における各事業の概況

fine food is our business **ROYAL**

■ 時短営業・酒類販売休止も、収益は回復傾向

外食事業

【ロイヤルホスト】

- 売上2019年比で80%程度であるが、経常黒字を継続

【てんや】

- 売上2019年比で90%超を維持し、経常黒字を継続

【専門店】

- 週末を中心に、シズラー等、レストラン業態で回復傾向

■ 地域間移動制限はあるが、高速道路店舗が回復が顕著

コントラクト事業

【高速道路店舗】

- 売上は、コントラクト事業の中で最も早い回復

【空港店舗】

- ロイヤルホストへの業態転換店舗が堅調な推移

【事業所内等】

- 社食・百貨店内店舗で緩やかな回復傾向

■ オリンピック関連の需要を取り込み、稼働率は上昇

ホテル事業

- 稼働率は77%まで上昇し、コロナ禍以降では最も高い水準
- ホテル事業子会社においては、7月度単月では経常黒字に転換
- 宿泊療養施設として8ホテルを提供（2021年7月末時点）

■ グループ店舗の売上増に伴い、工場稼働率が改善

食品事業

- グループ各事業の売上増を受けて、グループ内部向けが回復傾向
- 家庭用フローズンミール「ロイヤルデリ」の7月度単月の売上は、対前年で2.5倍

I-12. 2021年12月期 連結業績予想について

fine food is our business **ROYAL**

2021年12月期第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスワクチンの国内接種に進展がみられるものの、より感染力が強いデルタ型が全国で拡大していることから、足元ではグループ店舗が多く出店する首都圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）や大阪府、および、沖縄県においては「緊急事態宣言」が発令されており、また、13の道府県では「まん延防止等重点措置」が適用されております。

このような状況下において、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは、依然として不透明であり、また、感染拡大の状況や緊急事態宣言の有無などによって、当社グループの業績は大きな影響を受けることを勘案した上で、現時点では業績予想の合理的な見積もりが困難であると判断し、2021年12月期連結業績予想については、引き続き、未定とさせていただきます。公表が可能になった段階で速やかに公表させていただきます。

I 2021年12月期 第2四半期 実績報告

II 構造改革の推進

- 変化への対応
- 経営効率化
- 成長分野の育成
- 双日株式会社との業務提携の進捗

III Appendix

基本戦略

変化への対応

- ① 各事業において新たなマーケットを創造
- ② グループシナジーを最大限に発揮するCRMの構築
- ③ 各事業の強みを更に強化し、顧客満足を向上

経営効率化

- ① 事業再編を通じ効率的な体制へ（撤退、統合、本部）
- ② 固定費・コスト見直しにより収益構造を変革
- ③ SCMの推進

成長分野の育成

- ① 食品事業の拡大（ロイヤルデリ、冷凍アントレ、業務食）
- ② テイクアウト・デリバリーに強みを持つ業態開発
- ③ 海外事業展開

基盤強化と強靱な経営体質を再構築

Ⅱ-2. 構造改革の推進：取組と想定効果

fine food is our business **ROYAL**

変化への対応

(見込) +32億円

- ✓ 外食：テイクアウト・デリバリーの販売強化
- ✓ 外食：営業力の強化（商品戦略、改装）
- ✓ ホテル：環境変化に対応した販売プランの多様化

経営効率化

(見込) +101億円

- ✓ 経費削減・賃料減額の取り組み継続
- ✓ 早期希望退職、人件費の低減
- ✓ グループ組織再編、不採算店撤退

成長分野の育成

(見込) +1億円

- ✓ ECサイトを中心としたロイヤルデリの販売拡大
- ✓ ファストフード新業態（Lucky Rocky Chicken）の複数出店

追加施策

(見込) +27億円

- ✓ 機内食事業の持分法適用会社への移行
- ✓ 関連会社の株式譲渡（持分法除外）
- ✓ ホテル一棟貸し推進

効果額見込（対2019年比） +160億円

※ 別途、時短協力金・雇用調整助成金 + 29億円程度の収益計上を想定

感染予防対策

<グループ全体の取り組み>

- ◆新型コロナウイルス等感染症対策業務継続計画書（BCP）に則り、対応体制を構築
- ◆従業員の健康状態の確認、手洗い・消毒の徹底
- ◆テレワークの継続（対象：間接部門など対応可能な部門）

<店舗での取り組み>

- ◆マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、換気、消毒、飛沫防止パーティションの設置、感染予防対策の店内アナウンス（ロイヤルホスト）
- ◆各自治体からの要請に応じた休業や営業時間短縮などの変更

外食事業

安全・安心に関するお願いとご案内

感染予防にご理解・ご協力をお願いいたします。

お客様へのお願い

- 入口、レジ、ドリンクバー進捗時は**間隔をあけて**お並びください。
- 入店時、ドリンクバーご利用時の**アルコール消毒**にご協力ください。
- お食事以外のご談話時は**マスクの着用**をお願いいたします。

大声での会話はお控えいただけますようお願いいたします。

発熱、体調不良のお客様のご来店はご遠慮いただきます。

感染予防の観点から、**小さいお子さま**だけのドリンクバーのご利用はご遠慮ください。

当店の取り組み

- 就業前に健康チェック、手洗い消毒を行っています。
- 従業員のマスク着用を徹底しています。
- 可能な限り間隔をあけてお席にご案内しています。
- お客様が手に触れる部分は定期的に**アルコール消毒**を実施しています。
- 食器類は高温で洗浄殺菌しています。
- 換気設備による十分な換気を行っています。

Healthier Business
Royal Host

Sizzler

お客様各位
本日はご来店誠にありがとうございます。
ウイルス対策のため、下記のご理解・ご協力をお願いいたします。

サラダバーご利用に関するお願い

- 手指のアルコール消毒をお願いします
- マスクの着用をお願いします
- お客様同士の間隔をあけてご利用ください

シズラーの安全推進宣言

- ご入店時の検温
ご入店時に自動検温機にて体温計測（検知）を実施しています。
- アルコールスプレーの設置
店舗エントランス、サラダバー、各テーブル等、店内随所にアルコールスプレーを設置しています。
- サラダバーエリアの殺菌・消毒
サラダバーエリアは常に殺菌・消毒を行っています。
- サラダバーエリアのスクリーンガード
サラダバーには、飛沫防止のためスクリーンガードを設けています。
- トング類の殺菌・消毒
サラダバーのトング類は1種類おきに殺菌・消毒したものと交換しています。
- プラスマクラスターでサラダバーの空気を浄化
サラダバー専用装置でサラダバー専用装置でプラスマクラスターイオン発生機を設置しています。

ホテル事業



・客室

・朝食会場

ソーシャルディスタンス

お客様同士の密接を避けるため、エレベーター利用人数の制限をさせていただきます場合がございます。

アルコール消毒液による拭き上げ

ドアノブやテレビ・空調のリモコン、部屋の照明スイッチ、カードスリット、机、椅子、取っ手、冷蔵庫、キャビネット扉、電話機、ドライヤー、電気ケトル、トイレ、水性筆をアルコール消毒液にて拭き取りによる消毒を行っています。

24時間換気

館内、客室内はビル換気法に基づき、空気を循環させております。客室内は24時間換気を行い、常に新鮮な空気を取り込んでいます。

セットメニュー（定食形式）などを提供

現在安全・衛生面に配慮し、内容を変更して提供しております。詳細はホテルにご確認ください。

ソーシャルディスタンス

お席の間隔をあけてご案内しております。客席のテーブル、椅子はご利用ごとに消毒液にて拭き取りをしております。

アルコール消毒液の設置

朝食会場入り口に用意しております手指用の消毒液・除菌液を、入店前に必ずご利用ください。またみなさまにマスクの着用をお願いしております。

Ⅱ-4. 変化への対応：外食事業①

テイクアウト・デリバリー販売の強化

- ・期間限定キャンペーン実施（ロイヤルホスト、専門店）
- ・「元気応援キャンペーン」（天井てんや）



・高付加価値食材のセットメニュー



・グループ・ファミリー需要対応メニュー



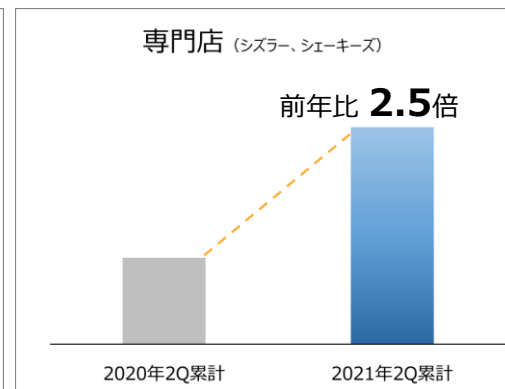
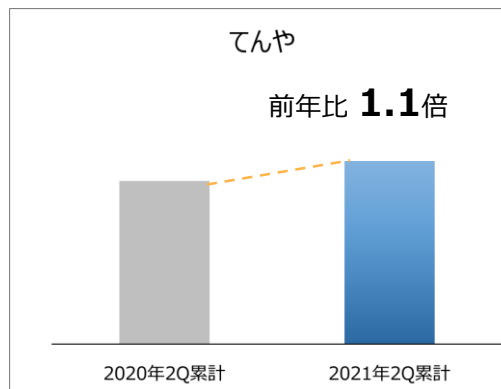
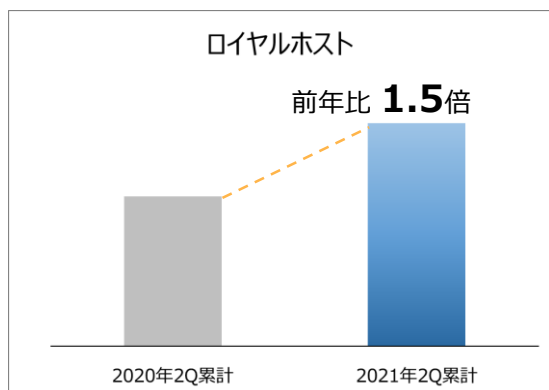
・お得なキャンペーン訴求

<テイクアウト・デリバリー占有率>

※直営店舗 (%)

	2020 2Q累計	2021 2Q累計
ロイヤルホスト	5.1	7.4
天井てんや	44.9	49.4
専門店	3.2	6.9

<テイクアウト・デリバリー売上高推移> ※直営店舗



Ⅱ-5. 変化への対応：外食事業②

営業力の強化

◆ 目的来店・購入の促進につながる付加価値向上



◆ 店舗改装の推進（ロイヤルホスト）

- 2名席のワイド化
- 一部、半個室の客席導入
- ロイヤルビバレッジカウンター設置



予約、団体利用向けにも活用可能な半個室の客席への改装例

◆ 効率化の推進

キッチンディスプレイ導入（ロイヤルホスト）

- ✓ 上半期66店舗⇒全店導入完了
- ✓ 労働時間の効率化 △2%減

改装実施：新フライヤーに入替（てんや）

- ✓ 上半期26店舗実施⇒
今期末までに、全店実施完了予定
- ✓ 実施済店舗：売上高 +3%増

Ⅱ-6. 変化への対応：コントラクト事業

fine food is our business **ROYAL**

ニーズに合わせたリニューアル、出店

【空港店舗】

◆業態転換

空港内専門店（コーヒーショップ）からロイヤルホスト業態へ

2020年3月 ロイヤルホスト羽田空港店

2021年3月 ロイヤルホスト広島空港店
ロイヤルホスト那覇空港店

来客数 10%増 客単価 100円 向上

ロイヤルホストへの転換 4 店舗目

7月オープン **ロイヤルホスト鹿児島空港店**



【高速店舗】

◆ちゃんぽん専門店へリニューアル

4月 2店舗（上里SA・古賀SA）

6月 1店舗（那須高原SA）

7月 1店舗（羽生PA）

客単価 140円 向上



◆売店の活性化

双日(株)、ハイウェイロイヤル(株)とのシナジー
魅力的な商品展開、売り場づくりへの取り組み



新たな事業機会の創出

◆環境変化に対応したプラン販売

デユース・テレワークプラン

ウィークリー・マンスリープラン

宿泊・デユースのサブスクリプションプラン

ステイホテルキャンペーン



2021年1月～6月 販売効果

稼働率 **+4%** 増

2021年7月より
順次販売開始

個人会員訴求プラン

シニアプラン

トラベルプラン



◆販路拡大による新たな需要獲得

2020年
旅行代理店・法人予約専門のグローバルセールス部門 設置

2021年6月末現在

法人会員 新規登録数 **164%** ※2019年比
(月平均)

◆感染軽症者療養宿泊受け入れ (ホテル一棟貸し) の継続

2021年7月現在
直営 **8** 棟で対応

(東北・関東・中部・近畿・九州)
※期間はホテル毎に異なる

Ⅱ-8. 経営効率化：取組および想定効果の詳細

fine food is our business **ROYAL**

経営効率化

内容

2021年度年間想定額
(対2019年度比較)

経費削減

- ✓ 経費削減、賃料減額、不採算店舗撤退
- ✓ 設備投資抑制による減価償却費減

△67億円

人件費低減

- ✓ 早期希望退職の実施、人件費の低減
- ✓ グループ組織再編による間接人員適正化

△34億円

追加施策

内容

2021年度年間想定額
(改善効果)

事業再編等

- ✓ 機内食事業の持分法適用会社への移行
- ✓ 関連会社の株式譲渡（持分法除外）

△27億円

ホテル一棟貸し

- ✓ 新型コロナウイルス無症状者・軽症者の受入れ

助成金等

助成金等

- ✓ 時短協力金申請（1Q：15億円、2Q予定：12億円）
- ✓ 雇用調整助成金（1Q：2億円）

Ⅱ-9. 成長分野の育成：食品事業の拡大

fine food is our business **ROYAL**

ROYAL DELI レストランクオリティの家庭用フローズンミール

◆商品展開

・顧客ニーズに合わせたラインアップ、セットを新発売

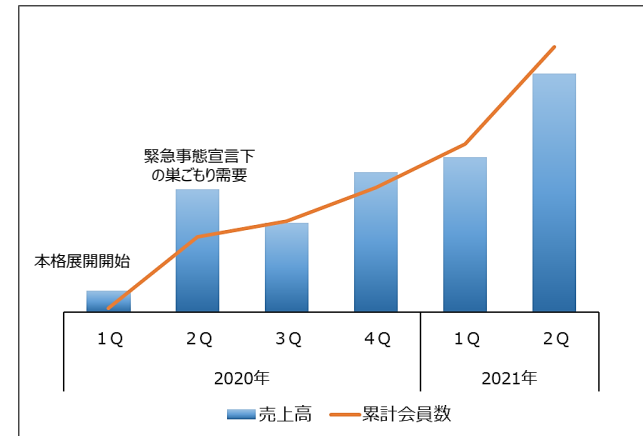


6月 世界の食卓シリーズ「夏カレー」(期間限定) 父の日向けセット

7月 「夏に食べたいアメリカン ハーブ&スパイシー」



＜売上高および登録会員数推移＞



＜2021年 第2四半期＞

・売上高 前年同期比 2 倍

・累計会員数 前年同期比 4 倍

◆百貨店、商業施設内でのテスト販売 (3月～7月)

・札幌 1か所 東京都内 4か所 名古屋 1か所 福岡 1か所

◆PR

・デジタル広告の活用

◆利便性向上

・決済方法の拡大

◆インセンティブの導入

・ECポイントの付与を検討

ロイヤルデリブランドとして初のコラボキャンペーン
シンガポール政府観光局とのタイアップ
(8月6日～10日)



Ⅱ-10. 成長分野の育成：ファストフード新業態

fine food is our business **ROYAL**

テイクアウト・デリバリーに強みを持つ新業態の開発

Lucky Rocky Chicken

バターミルクフライドチキン専門店
テイクアウト・デリバリー中心



5月29日オープン

1号店 **武蔵小山店** (東京都品川区)

売上高 計画比 **123** % ※オープン翌月

テイクアウト・デリバリー占有率 **91** %

キャッシュレス決済売上占有率 **53** %

※オープン翌月

2021年度 展開モデルを検証

5~10店舗オープン予定

2021年秋オープン予定

2号店 **吉祥寺店** (東京都武蔵野市)

ほか 駅前・住宅街周辺立地への出店検討

海外市場における成長基盤の確立、拡大

◆シンガポール現地法人設立

双日株式会社との共同出資

2021年7月 合併契約を締結



- ・海外市場における事業機会の発掘
- ・案件検討の調査支援
- ・対象事業への出資

M&Aを視野に事業開拓を積極化

◆海外展開状況

2021年6月末

37店舗

<ロイヤルホスト>

台湾 13

<天丼てんや >

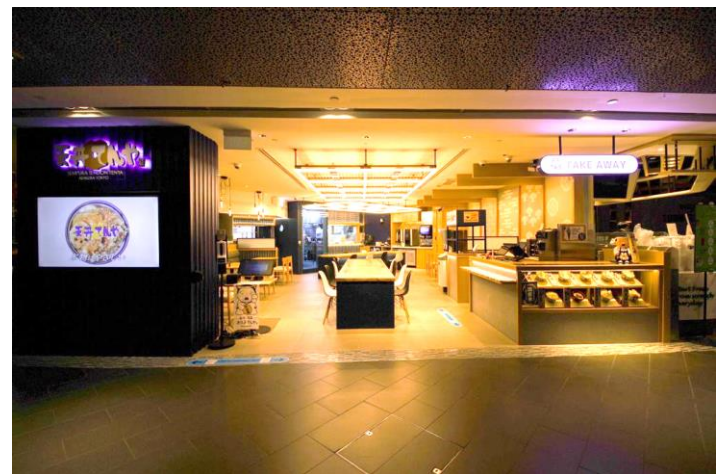
タイ 14 フィリピン 7 香港 2 シンガポール 1

てんや業態の出店を推進

- ・香港、シンガポール
- ・新たな市場開拓（中国など）

シンガポール2号店（2021年7月オープン）

TENYA ION Orchard



Ⅱ-12. 双日株式会社との業務提携：進捗状況

fine food is our business **ROYAL**

- ✓ 当社グループの企業価値向上を目的に、双日株式会社との共同での委員会および共同プロジェクト統括室（PMO）を設置

7つの分科会を組成し、課題検討が進行

1. 購買・物流：サプライチェーンの効率化によるコストダウン
2. ロイヤルデリ：内食市場をターゲットにした販売拡大
3. 工場：CK及び機内食工場の稼働率向上と生産性の改善
4. コントラクト：高速道路SA・PAの売店売上増、新規拠点の獲得
5. 海外事業：事業基盤の確立、ローカルパートナーの確保と市場調査
6. CX・CRM：デジタル化されたCRM基盤の確立
7. ホテル：新たな需要創造、運営形態の多様化

Ⅱ-13. 双日株式会社との業務提携：取組事例

fine food is our business **ROYAL**

購買・物流

- ✓ 双日グループの調達力を活かした購買コストの低減
- ✓ 物流効率化に向けた取組を検討

工場

- ✓ 大手量販店向けなど、BtoB営業の強化
- ✓ 双日グループの協力工場との協業検討

コントラクト

- ✓ マーチャンダイジングの見直し（高速道路SA・PA）
- ✓ 双日グループのネットワークを活かした空港拠点への出店検討

海外事業

- ✓ 共同出資によるシンガポール現地法人の設立
(2021年8月予定)
- ✓ 海外市場におけるグループ事業機会の発掘

ホテル

- ✓ 新たな事業領域への進出を検討

I 2021年12月期 第2四半期 実績報告

II 構造改革の推進

- 変化への対応
- 経営効率化
- 成長分野の育成
- 双日株式会社との業務提携の進捗

III Appendix

Ⅲ-1. 外食事業

(単位：百万円)

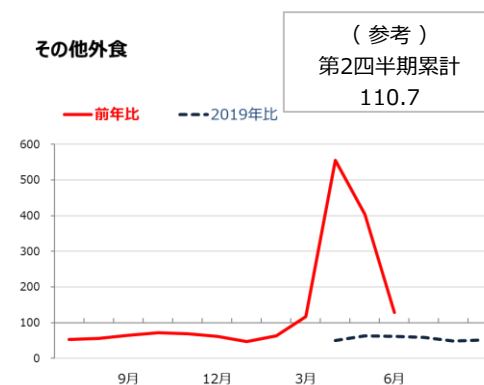
外 食 事 業
ロイヤルホスト
てんや
その他外食
外食本部

2020年12月期 第2四半期	
売上高	経常利益
21,488	△3,084
13,289	△656
4,879	△504
3,319	△1,428
0	△494

2021年12月期 第2四半期	
売上高	経常利益
21,240	326
13,463	671
4,856	536
2,921	▲479
0	▲402

増 減 額	
売上高	経常利益
△248	3,411
173	1,327
△22	1,041
△398	949
0	92

〈〈 既存店売上前年（2019年）比 推移（％） 〉〉

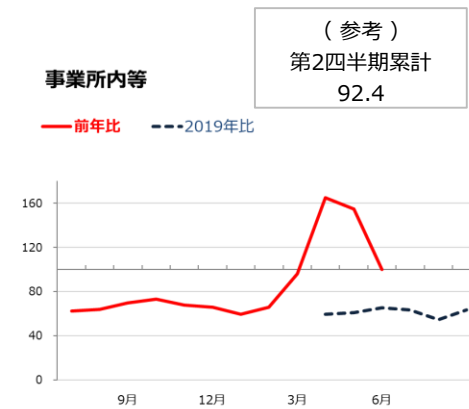
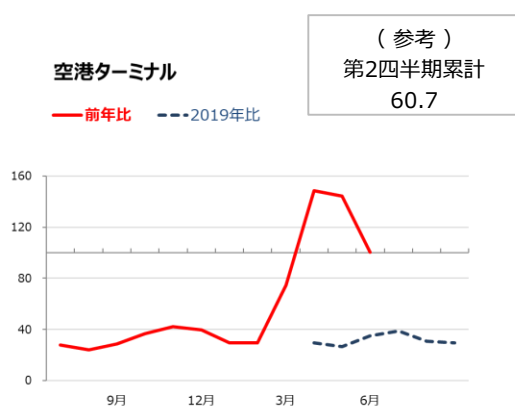


Ⅲ-2. コントラクト事業

(単位：百万円)

	2020年12月期 第2四半期		2021年12月期 第2四半期		増減額	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
コ ン ト ラ ク ト 事 業	9,450	△1,768	7,640	▲678	△1,809	1,090
空 港 タ ー ミ ナ ル	2,549	△542	1,318	▲87	△1,231	455
高 速 道 路	2,813	△493	2,543	▲364	△270	128
事 業 所 内 等	4,086	△572	3,779	▲46	△307	526
コ ン ト ラ ク ト 本 部	0	△160	0	▲180	0	△20

《《 既存店売上前年（2019年）比 推移（％） 》》



Ⅲ-3. ホテル事業

(単位：百万円)

ホテル事業
リッチモンドホテル
ホテル本部

2020年12月期 第2四半期	
売上高	経常利益
6,511	△4,053
6,511	△3,982
0	△71

2021年12月期 第2四半期	
売上高	経常利益
7,402	▲2,094
7,402	▲2,008
0	▲86

増減額	
売上高	経常利益
890	1,959
890	1,973
0	△14

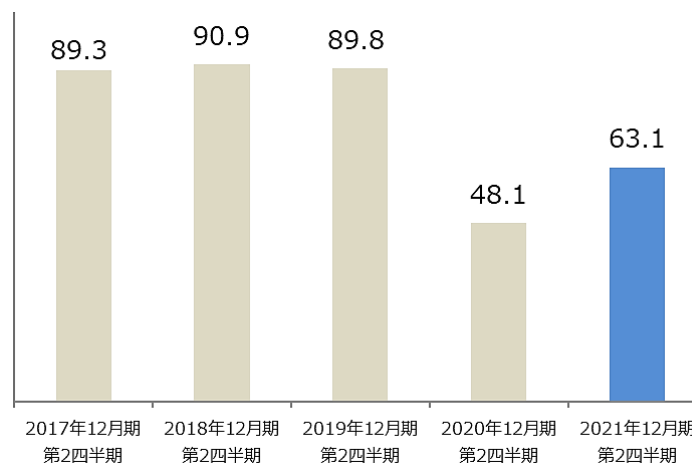
【リッチモンドホテル 直営のみ】

店舗数（各四半期末）
各期末客室数（室）
直営ホテル客室稼働率

2020年12月期				
第1四半期 1月-3月	第2四半期 4月-6月	第3四半期 7月-9月	第4四半期 10月-12月	通期
41	41	41	42	42
8,312	8,311	8,309	8,498	8,498
70.7%	25.4%	52.9%	70.7%	55.0%

2021年12月期		
第1四半期 1月-3月	第2四半期 4月-6月	第2四半期累計 1月-6月
42	42	42
8,498	8,485	8,485
60.7%	65.5%	63.1%

《 客室稼働率推移 》



Ⅲ-4. 既存店売上2019年比

2021年度

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 (速報値)	第1四半期 累計	第2四半期 累計
外食事業	ロイヤルホスト	72.8	80.0	82.2	80.2	80.3	77.8	83.8	78.4	78.9
	てんや	86.2	94.9	86.5	91.3	91.5	89.2	93.4	89.0	89.8
	専門店	50.8	64.1	62.1	57.9	47.7	51.7	61.9	59.1	55.6
コントラクト 事業	空港ターミナル	30.1	27.9	38.1	38.9	31.0	29.5	36.7	32.3	32.7
	高速道路	41.3	53.5	64.1	55.4	42.2	54.0	69.1	52.8	51.1
	事業所内	58.1	61.2	67.5	63.5	54.5	63.4	58.1	62.4	61.4
ホテル事業	リッチモンドホテル	42.8	45.7	59.8	49.9	48.5	52.9	60.9	49.9	50.1

2020年度

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年 累計
外食事業	ロイヤルホスト	103.8	103.9	79.7	42.1	54.2	78.2	86.1	81.2	83.5	95.3	90.8	79.8	81.2
	てんや	95.9	98.2	79.1	58.1	63.6	80.1	81.6	86.4	83.6	92.0	88.6	84.1	82.3
	専門店	105.1	100.5	52.3	11.5	12.3	40.3	52.1	55.9	64.2	72.0	68.7	60.8	56.1
コントラクト 事業	空港ターミナル	100.3	90.8	47.1	22.4	17.6	24.3	27.8	24.3	28.5	36.8	42.4	39.6	41.3
	高速道路	99.0	98.0	66.6	25.6	15.9	49.4	56.3	42.4	64.2	74.1	80.0	65.4	58.7
	事業所内	99.6	93.3	68.3	37.4	34.4	62.6	62.4	64.1	69.6	73.0	67.8	66.0	66.3
ホテル事業	リッチモンドホテル	96.7	82.5	41.8	16.6	12.7	26.5	35.2	33.3	47.5	55.9	60.1	55.9	45.4

既存店売上前年比の算定対象には、休業店舗や営業時間短縮店舗等を含んでおります。

なお、2021年7月度データは、速報ベースでございます。

Ⅲ-5. 店舗展開状況

	2020年 通期実績				2021年 第2四半期実績			
	開店	閉店/異動	増減	期末	開店	閉店/異動	増減	期末
外 食 事 業 計	5	△58	△53	511	7	▲20	▲13	498
ロイヤルホスト	2	△1	1	232	3	▲3		232
直 営				217		▲3	▲3	214
国内 F C ※1	2	△1	1	3	2		2	5
海外 F C				12	1		1	13
てんや	2	△34	△32	197	1	▲10	▲9	188
国内 直 営	1	△24	△23	124	1	▲2	▲1	123
海外 直 営		△3	△3					
国内 F C ※1		△6	△6	47		▲6	▲6	41
海外 F C	1	△1		26		▲2	▲2	24
カウボーイ家族		△11	△11	7		▲2	▲2	5
シェーキーズ		△1	△1	20	1	▲1		20
直 営				12	1		1	13
F C 等		△1	△1	8		▲1	▲1	7
シズラー				10				10
ロイヤルガーデンカフェ	1	△2	△1	8		▲1	▲1	7
直 営	1	△2	△1	7		▲1	▲1	6
F C 等 ※1				1				1
その他専門店		△9	△9	37	2	▲3	▲1	36
直 営		△9	△9	37	2	▲3	▲1	36
F C 等								
コ ン ト ラ ク ト 事 業 計	10	△37	△27	186	3	▲11	▲8	178
空港内レストラン・売店等		△17	△17	33				33
高速道路内レストラン・売店	1	△1		14				14
直 営	1	△1		12				12
F C 等				2				2
ビジネス&インダストリー	7	△8	△1	74	3	▲7	▲4	70
シルバー・ハルスケア	2	△6	△4	40		▲2	▲2	38
百貨店内レストラン等		△5	△5	25		▲2	▲2	23
ホ テ ル 事 業 計	1	△4	△3	51				51
リッチモンドホテル等	1		1	44				44
直 営	1		1	42				42
F C 等				2				2
ホテル直営レストラン		△4	△4	7				7
グ ル ー プ 合 計 ※1	14	△99	△85	739	8	▲31	▲23	716
直 営	13	△90	△77	647	7	▲22	▲15	632
F C 等 ※1	1	△9	△8	92	1	▲9	▲8	84
(内、海外 F C)	1	△1		38	1	▲2	▲1	37

※1 グループ内 F C 店舗を含む。てんや「国内 F C」6 店舗、ロイヤルホスト「国内 F C」4 店舗、ロイヤルガーデンカフェ「F C 等」1 店舗
他のセグメントと重複カウントとなる為、グループ合計からは除外

- 本資料に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。
- 本資料に記載している営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益については、それぞれ営業損失・経常損失・親会社株主に帰属する当期(四半期)純損失の場合に「△」で表示しております。
- 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料に関する問い合わせ先:

ロイヤルホールディングス株式会社

財務企画部 電話 : 03-5707-8873

経営企画部 電話 : 03-5707-8852